

愛知県子供読書活動推進計画（第四次）概要版

～未来へつなぐ、いつも本のある暮らし～

計画策定の趣旨

○計画の背景と策定の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月12日法律第154号)(以下「推進法」という。)

- ・子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの
- ・都道府県及び市町村に「子供読書活動推進計画」策定の努力義務を規定

○計画の性格

- ・推進法第9条第1項の規定に基づく計画であり、「あいちの教育ビジョン2020」を踏まえ子供の読書活動を推進する具体的な方針を定めるもの
- ・推進法第9条第2項の規定に基づき、市町村が「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を独自に策定するための指針となるもの

○計画期間

平成31年度からおおむね5年間（2019年度～2023年度）

第三次推進計画期間の評価

- ・市町村のブックスタートの取組増加による家庭における読み聞かせの拡充
- ・公立図書館同士、公立図書館と学校図書館との連携の促進
- ・学校図書蔵書のデータベース化の促進
- ・「子供読書活動推進計画」策定市町村の増加
- ・高等学校を始め、全学校種における不読率（1か月に1冊も本を読まなかった割合）の上昇
- ・学校図書新規購入冊数、読書ボランティアの減少

愛知県を取り巻く状況（H30.1調査結果から）

- ・読書を「好き」「どちらかというとき好き」と答える子供は7割超
- ・読書好きな子供でも「勉強で本を読む時間がない」
- ・読書量改善に一番効果的なのは「本を読む時間をしっかりとってあげる」こと

第四次推進計画に向けた主な課題

- ・読書習慣定着の促進
- ・高校生の不読率の改善
- ・身近に本のある環境の整備促進



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

愛知県教育委員会

第四次推進計画の基本的方針

<基本理念> 未来へつなぐ、いつも本のある暮らし

<基本目標と方策>

未来へつなぐ、いつも本のある暮らし

基本目標 1
家庭、地域、学校等
における取組の充実

方策 1
家庭における発達段階に応じた取組の推進

方策 2
地域における発達段階に応じた取組の推進

方策 3
学校等における発達段階に応じた取組の推進

基本目標 2
子供読書活動推進
支援の一層の充実

方策 4
普及啓発活動の推進

方策 5
家庭、地域、学校等相互及び図書館間等の連携・協力の推進

方策 6
子供読書活動推進体制の整備

主な取組

基本目標 1 家庭、地域、学校等における取組の充実

子供の発達段階に応じて、子供が読書に親しむ習慣の定着、継続を図る。

方策 1 家庭における発達段階に応じた取組の推進

- ・ブックスタート事業等の推進
- ・読み聞かせの啓発・推進
- ・家読（うちどく）事業の推進 等

方策 2 地域における発達段階に応じた取組の推進

(1) 公立図書館

ア 県図書館

- ・発達段階に応じたブックリストの配布や展示等の実施及び発信
- ・ヤングアダルト層へのサービスの充実
- ・障害のある子供を対象にしたサービスの充実
- ・幅広い外国語の児童図書の収集と提供 等

イ 市町村立図書館

- ・ブックスタート事業の実施、支援
- ・読み聞かせ会の実施、支援
- ・家読（うちどく）活動の支援
- ・ネットワーク化による支援 等

(2) 公民館・児童館

- ・公民館図書室の読書環境の整備
- ・公民館や児童館における読書活動の奨励 等

(3) NPO・ボランティアグループなどの民間団体

- ・読書ボランティアの活動支援
- ・外国人の子供の言語習得のための「絵本の読み聞かせ」の推進 等

方策3 学校等（幼稚園・保育所を含む）における発達段階に応じた取組の推進

- (1) 教育活動全体を通じた読書活動の推進
 - ・幼稚園や保育所等における読み聞かせ体験の充実
 - ・一斉読書等を利用した児童生徒の読書習慣の確立と読書時間の確保
 - ・授業などでの読書の活用 等
- (2) 魅力ある学校図書館作りの推進
 - ・「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能の充実
 - ・「心の居場所」としての機能の充実 等

基本目標2 子供読書活動推進支援の一層の充実

子供の読書活動の意義や重要性を県民に周知するとともに、子供の読書活動に携わる機関・団体が緊密に連携・協力し、本に親しむ環境作りを進める。また、「高校生ビブリオバトル愛知県大会」を開催し、読書への関心を高める。

方策4 普及啓発活動の推進

- ・「高校生ビブリオバトル愛知県大会」の実施
- ・優れた子供読書活動の奨励
- ・優良な図書の普及 等

方策5 家庭、地域、学校等相互及び図書館間等の連携・協力の推進

- ・家庭と学校等の連携
- ・地域と学校等の連携
- ・家庭と地域の連携 等

方策6 子供読書活動推進体制の整備

- ・子供読書活動の総合的な推進
- ・市町村推進計画策定の推進 等

数 値 目 標

項 目	現況（2017年）	目標（2023年）
＜基本目標1＞家庭、地域、学校等における取組の充実		
市町村立図書館におけるボランティア団体数（人数）	538団体(6,298人)	現況値以上
一斉読書等読書活動実施率	小:98.6%、中:95.1%、高:26.7%	小・中:現況値以上、高:50%
一斉読書以外の読書活動推進の取組実施率	特:71.0%	特:99%
学校種ごとの不読率	小:6.5%、中:12.3%、高:45.9%	小:3%以下、中:7%以下、高:33%以下
＜基本目標2＞子供読書活動推進支援の一層の充実		
公立図書館と学校図書館との連携実施率	小:86.0%、中:68.8%、高:18.0%、特:29.0%	小:95%、中:75%、高:30%、特:40%
市町村推進計画策定率	72.2%	91%

※ 小：小学校、中：中学校、高：高等学校、特：特別支援学校

発達段階に応じた取組一覧表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18					
		乳幼児期						小学生期						中学生期			高校生期								
家庭		ブックスタート事業等						読み聞かせの啓発・推進																	
								家読（うちどく）事業の推進																	
		家庭教育に関する各種事業を活用した啓発																							
地域	図書館	発達段階に応じたブックリストの配布や展示等の実施及び発信																							
		レファレンスサービスの充実																							
		おはなし会、参加型イベントなど、子供が読書の楽しみに触れる機会の提供																							
														ヤングアダルト層へのサービスの充実											
		障害のある子供を対象にしたサービスの充実																							
		幅広い外国語の児童図書の収集と提供																							
		ブックスタート事業の実施、支援						読み聞かせ会の実施、支援																	
								家読（うちどく）活動の支援																	
	児童館	公民館や児童館における読書活動の奨励																							
	NPO	外国人の子供の言語習得のための「絵本の読み聞かせ」の推進																							
学校等	保育所等	読み聞かせ体験の充実																							
	小学校							読み聞かせ体験の充実																	
								一斉読書等を利用した読書習慣の確立																	
								授業などでの読書の活用																	
	中学校													一斉読書等を利用した読書習慣の確立と読書時間の確保											
													授業などでの読書の活用												
	高等学校																			一斉読書等を利用した読書時間の確保					
																			授業などでの読書の活用						
	読書困難な子供に対して	障害のある子供の読書活動の推進																							
																				一斉読書以外の読書活動推進の取組					